

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

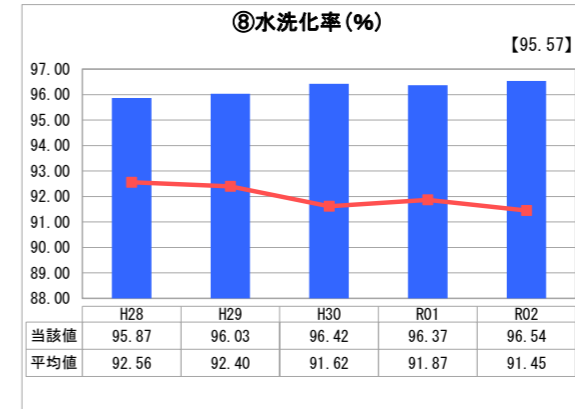
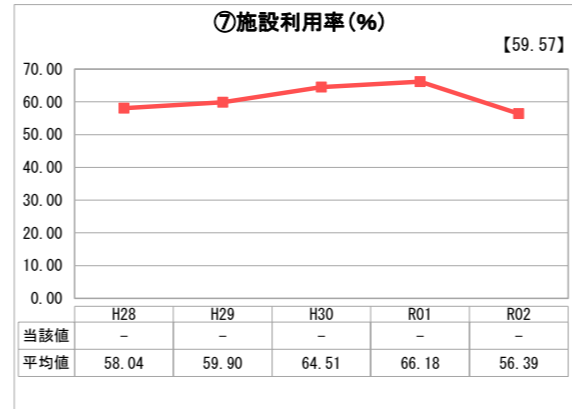
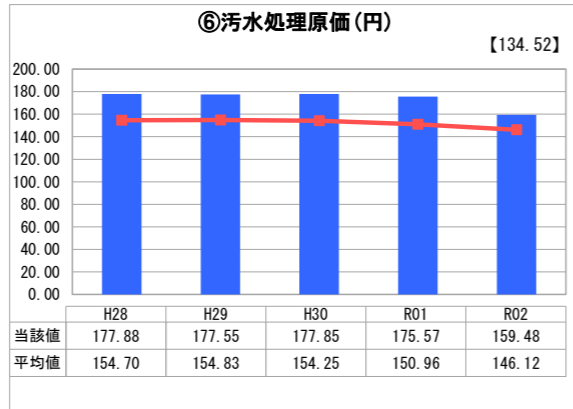
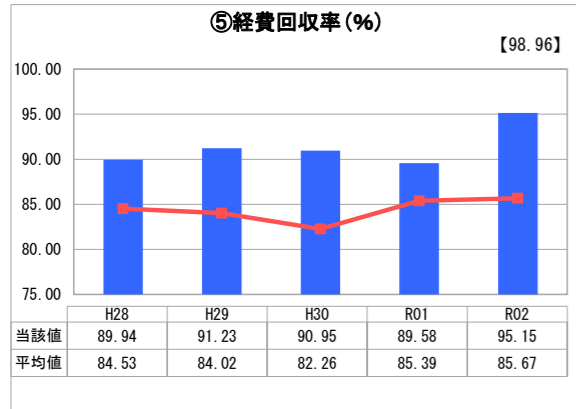
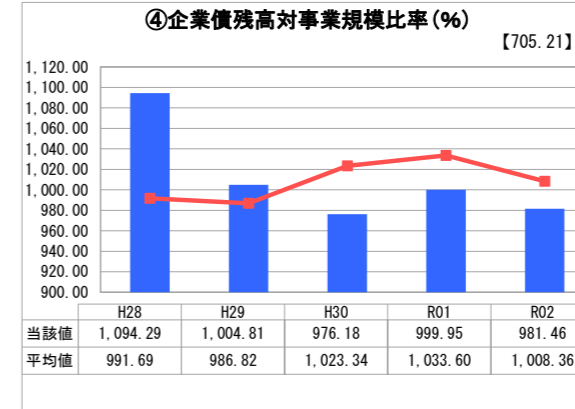
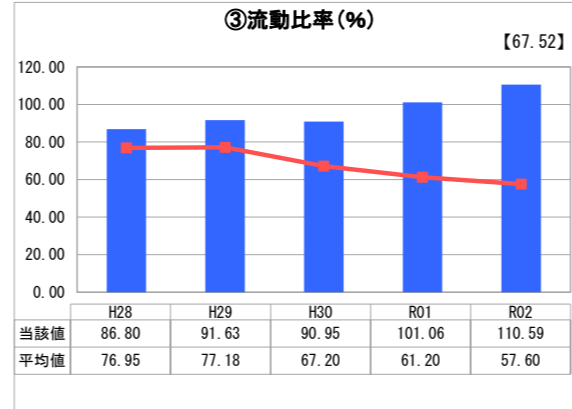
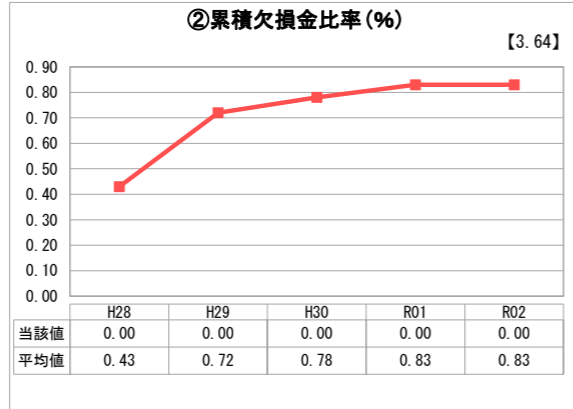
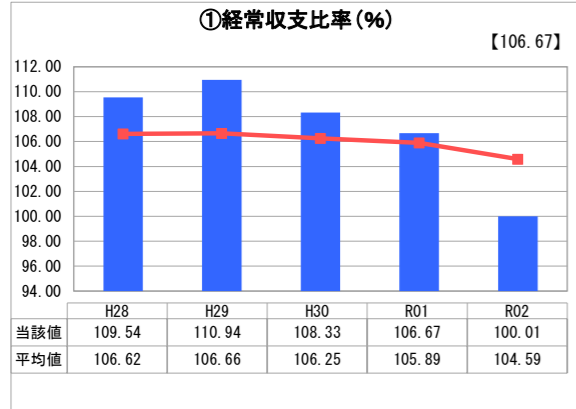
福岡県 粕屋町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Bc2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	54.31	98.25	93.73	2,750

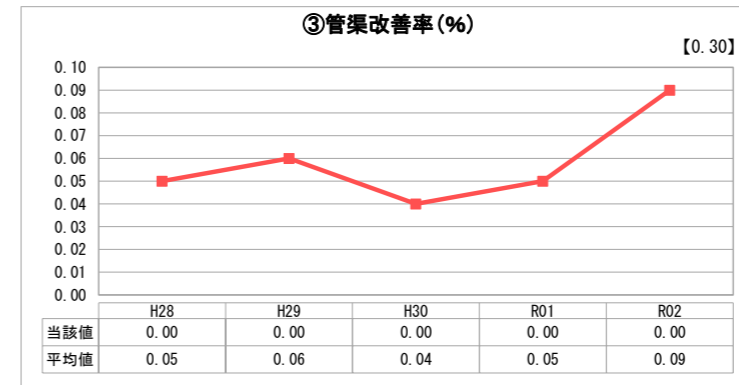
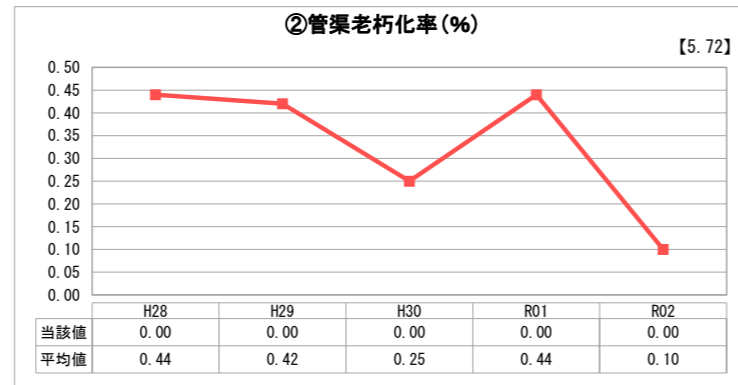
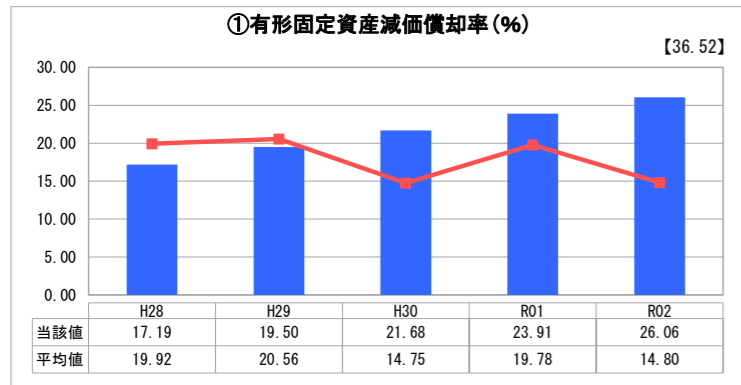
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
48,246	14.13	3,414.44
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
47,403	7.69	6,164.24

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
[ ]	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

流動比率が伸び、類似団体平均値を大きく上回っている。債務に対し償還が進んでいる状況で、資金繰りは問題ないと考えられる。前年度と比較し、経常収支比率の減少と経費回収率の増加がみられるが、これは一般会計からの繰入について見直しを行ったことに伴うものであり、実際の経営状況に大きな変化はない。しかしながら、更新投資等に充てる財源の十分な確保には至らない状況にある。面整備はほぼ終わり、水洗化率は96%超と高率なことから、使用料収入による収益の伸びは見込めないため、料金改定も視野に入れた中長期的な計画を策定し、将来の管渠更新等に備えた留保資金の確保が必要である。汚水処理原価が類似団体平均値を上回っているため、今後も引き続き維持管理費の削減に取り組む等、効率性の向上を図る必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

現在、法定耐用年数を超えた管渠等はないものの、年々老朽化は進んでいるため、更新時期へ向けて、適切な投資計画を立てる必要がある。

## 全体総括

現在の経営状況は健全とまでは言えないものの、今のところ明らかに悪化している状況にはないと考えられるが、水洗化率は高い水準に達しており、収入の柱である下水道使用料の大幅な伸びは見込み難い。今後の人口の推移、将来に向けた管渠等の更新も見据え、経営戦略の見直しを実施し、バランスの取れた計画的な投資を行う必要がある。そのため、今後経営状況が悪化することないように、上記の方策を通して、より効率的な経営を維持しなければならない。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。